

J R 東海労申第 1 3 号  
2 0 1 8 年 8 月 2 7 日

東海旅客鉄道株式会社  
代表取締役社長 金子 慎 殿

J R 東海労働組合  
中央執行委員長 木下 和樹

### 「のぞみ 2 3 号」車両故障に関する申し入れ

J R 東海労の調査によると、8 月 14 日、「のぞみ 2 3 号 ( J R 東海所属 X 編成 )」が山陽新幹線の小倉～博多間で車両故障が発生し、運転台モニターに「駆動系異常」のポップアップ表示があったことが判明している。

平成 29 年 1 月 25 日に「のぞみ 31 号」では、山陽新幹線の小倉～博多間で部品落下により緊急停止した事故も発生しており、今回の故障表示も新幹線の安全について極めて重大な事象にも関わらず、現場社員に何の説明もない。

今回の故障表示は J R 西日本管内で起きた事象であるが、車両は J R 東海所属であり、J R 東海でも故障の原因究明や明確な対策を構築すべきである。従って、下記の通り申し入れるので、速やかに団体交渉を開催すること。

#### 記

- 1 . 今回の故障の詳細について時系列をもって明らかにすること。
- 2 . 故障表示した車両の編成番号と号車部位を明らかにすること。
- 3 . 今回の故障の原因と処置について明らかにすること。

以 上